

課題と方向性

国立公園等保護地域が生物多様性保全に果たす役割

課 題	方 向 性
<p>国土の中で生物多様性上重要だが、その保全が十分ではない地域について、適切な保護担保措置を講じること。</p>	<p>すぐれた自然の風景地の観点から指定される国立・国定公園は、最も広い範囲をカバーしている保護地域制度であり、国土の生物多様性保全上重要な役割を果たしていることから、自然公園制度を十分に活用しつつ、各種保護地域制度のより効果的な運用を推進。</p>

地域の多様な主体の参画による国立公園等の管理運営の推進

課 題	方 向 性
<p>里地里山等において人為により維持されてきた風景などの二次的自然環境を、地域の様々な立場にある人々の参画を得て適切に維持していくこと。</p>	<p>国立・国定公園の風景や自然環境の維持保全は、国だけでなく地方公共団体、住民、NPO、学識経験者、利用者など多様な主体の参画を得て管理を推進していくことが必要であり、そのための従来の規制的手法だけでない制度の追加の必要性についても検討。</p>

生態系ネットワークの形成

課 題	方 向 性
<p>生態系ネットワークの形成を着実に推進すること。</p>	<p>現在策定作業が進められている国土形成計画やその後の広域地方計画において、全国的あるいは広域的視点に立った生態系ネットワークの構想を具体的な形で示すことについて、関係各省とも連携して検討。それらを踏まえて、都道府県や市町村など地方における取組が進むような仕組みを検討。</p>